

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案				
○年 ○組	教科 等		指導者	職名 ○○
単元名・題材名			時	○/全○時間
①本時のねらい	A 学習内容（～を、～について）			
	B 学習活動（○○を通して/○○でまとめて/○○と比べて） ※Bは「考えるための技法等」を意識する			
	C 育成を目指す資質・能力（△△できるようにする、△△に気付くようにする、△△を高める）			
②本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】 行動観察・行動分析・発言分析・会話・記述分析・ノート・作品・テスト 等
	【評価規準】 ※本時のねらい「C 育成を目指す資質・能力」との整合をチェックする ※文末は「～している」という形で示す			
展開	③めあて	※本時で目指す「活動のゴールの姿」を示す。 「ゴールとその道筋」を提示することもある。 ※文末は「～しよう」という形で		
	④課題	※その時間に解決すべきこと（授業展開により適宜設定） 文末を疑問形で表記する。（～かな。 等）		
	⑤課題（めあて）提示後の問題解決の流れ	【課題（めあて）提示後の問題解決の流れ】 ※児童生徒の思考の流れを記載 ※ <u>児童生徒の立場</u> で記載する。		
	⑥まとめ	※本時の課題に対する答え・結論（授業展開により適宜設定）		
	⑦振り返り	※本時の終末に期待したい児童生徒の反応を想定して記載する ・今日のめあてが達成できたか ・今日の授業でできるようになったこと、気づきや学び ・今後、できるようになりたいこと、考えてみたいこと 等		
⑧「C:努力を要する」状況の児童生徒への手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】（場面・方法 等）		
	「～が十分でない/～が難しい」 ※「ねらいC 育成を目指す資質・能力」と照らし合わせて記載	それに対する手立て		
	(個)	「個別の指導計画」に基づき、記載する場合は(個)と記入		

【参考】大分県教育センターHP

<https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/jyugyoudukuri-pointo-furikaeri.html>

授業づくりのポイント「振り返りの充実」について

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案(例)

6年 1組	教科	国語	指導者	豆田 町子
単元名・題材名	物語を読んで、登場人物の生き方から考えたことを語り合おう		時	6 / 全8時間
本時のねらい	<p>A 太一が瀬の主にもりを打たなかった理由について、</p> <p>B 文章中の叙述を根拠に、他の登場人物の生き方と結びつけて考えることを通して、</p> <p>C 根拠をあきらかにして自分の考えをまとめることができるようにする。</p>			
本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】 ・学習ノートの記述
	【評価規準】 太一がもりを打たなかった理由を、太一の生き方に大きな影響を与えた父や与吉じいさの生き方と結びつけて考え、自分のことばでまとめている。			
展開	めあて	(太一の生き方について考えよう。) ②太一が瀬の主にもりを打たなかった理由について自分の考えをまとめよう。		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太一がもりを打たなかった理由はどこを読めばわかるかな？</li> <li>(登場人物の行動の理由について考えるには、文章(文、ことば)のどこを読めばわかるかな？)</li> <li>・自分の考えをまとめるには、どうすればよいのかな？</li> </ul>		
	課題(めあて)提示後の問題解決の流れ	<p>【課題(めあて)提示後の問題解決の流れ】 (個の思考・・・本文を読み返しながら・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっとおとうを殺した瀬の主にあえたのになぜ、もりをうたなかったのだろうか？</li> <li>・理由がわかる文章(文、語句)はどこに書かれているかな？</li> <li>・太一について書いているところだけで、理由がわかるかな？</li> <li>・太一は、お父さんや与吉じいさを尊敬していたよな。</li> <li>・友だちは、どう考えているんだろう。知りたいな。自分の考えも聞いてもらいたいな。</li> </ul> <p>(交流・・・本文中の文や語句を示しながら・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるほど、〇〇さんの読んでいるところや考えたこと、参考になるな。</li> </ul> <p>(個の思考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとうや与吉じいさは海とともに生きた。太一は自分もおとうやじいさと同じように海とともに生きたいと思った。海とともに生きるとは、海で生きている生き物の命も大事にしてともに生きること。だから太一は瀬の主にもりを打ち込まなかったんだ。</li> </ul>		
	まとめ	<p>太一がもりを打たなかった理由は、おとうや与吉じいさの言動について書いているところを読み返すことでよくわかってきた。(登場人物の行動の理由について考えるには、他の人物について書かれているところもつなげて読むとよい。)</p> <p>自分の考えをまとめるには、前の時間までの学習でわかっていることや自分の知っていることと結びつけて考えるとよい。</p>		
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的をはっきりもって、何度も文章を読み返すことで、感想や考えが変化(深まって)していくことがわかった。めあてや課題を意識して本文を読み返すことをこれからも大切にしたい。</li> </ul>		
「C:努力を要する」状況の児童生徒への手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】(場面・方法 等)		
	自分の考えをまとめることができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容の確認</li> <li>・関連付けの思考ツール活用</li> </ul>		
	物語の全体像をとらえられない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物相関図の提示</li> <li>・場面展開図の提示</li> </ul>		
	(個) 集中力が持続しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな達成感が多く味わえるように、時間のかかる活動はいくつかの部分に分け、見通しを持たせる。</li> </ul>		

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案(例)

5年 1組	教科	算数	指導者	教諭・日田 一郎
単元名・題材名	速さの比べ方を考えよう(速さ)		時	3 / 全6時間
本時のねらい	A 速さを表す3つの単位時間について			
	B 日常生活で出会う事象を基に、それぞれの数量の捉えやすさを比較することによって			
	C 道のりと時間の数量関係によって、捉えやすい単位時間を考えることができるようにする。			
本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】
	【評価規準】 速さを求めるときに使う2量に着目し、捉えやすい単位時間を考えている。			ノート
展開	めあて	3つの速さの表し方を比べよう。		
	課題	時速だけでなく、分速や秒速で求めることがあるのはなぜかな。		
	課題 (めあて) 提示後の 問題解決の 流れ	<p>【課題(めあて) 提示後の問題解決の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当、何で3つもあるんだろう。・計算もめんどくさい。・時速だけでよい気もするけど。</li> <li>・時速を秒速にしたり、分速を時速にしたりする計算は60や60×60をかけたり、割ったりしないといけないから、大変だ。</li> <li>・速さは道のり÷時間で求められるんだったよね。</li> <li>・分速や秒速で表す「よさ」ってあるのかな。友だちの考えを聴いてみたいな。</li> </ul> <p>(グループでの交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんが「大谷選手の投げたボールは時速160km っていうけど、実際はボールが1時間もそのスピードのまま進むことなんてないよ。」って言っていたのが、なるほどと思った。</li> <li>・時速160km は秒速にすると秒速約44m だね。そっちの方が速いって実感できるね。</li> </ul> <p>(全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時速しかないと、どのくらいの速さなのかわかりにくいね。</li> <li>・求めるものによって、分速や秒速で表した方がわかりやすいね。</li> </ul>		
	まとめ	求めるものによっては、分速や秒速のほうがわかりやすいから。		
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速さを求めるときには、どの単位時間を使うとわかりやすいか考えることが大切だと思いました。</li> <li>・今日学習したことを使って100m を 10 秒で走る陸上選手がそのままの速さでフルマラソンを走ったら何時間で走れるのか考えてみたい。</li> </ul>		
「C:努力を要する」 状況の児童生徒への 手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】(場面・方法 等)		
	道のり÷時間が速さとなる関係を捉えることが難しい	時計で1分や1秒の量感をつかませ、グラウンドや廊下などの具体物の長さとの関係で速さを捉えさせる。		
	商が小数となる計算が未定着	計算が複雑な場面では電卓等を使用させる。		
	【個】集中の持続が難しい	プリントの配布など、離席できる場面を設定する。		